

お城山

村上駅周辺まちづくり事業 むらかみライフプロジェクト 事業者との意見交換会

統合保育園

複合施設
(市民・観光交流施設等)

多目的広場・オープンスペース等

国の施設
(協議中)

※現在、この道路の計画はありません。
また、施設の配置位置については
イメージであり決定したものではありません

村上駅周辺まちづくり事業
大規模跡地利活用イメージ動画

“YouTube動画公開中”



イメージ動画 村上駅周辺まちづくり事業



会議名：事業者との意見交換会
と き：令和7年7月29日（火） 午後2時から
ところ：マナポーテ村上

本日の説明内容

- 1 村上駅周辺まちづくり事業の全体スケジュール
- 2 村上駅周辺まちづくり事業 大規模跡地のゾーニングイメージ
- 3 各種計画における事業の位置づけ
- 4 官民連携による村上駅周辺まちづくり事業の推進

1 村上駅周辺まちづくり事業の全体スケジュール

【村上駅周辺まちづくり事業】段階的な官民連携実現に向けた実施プロセスイメージ



全体計画

- R5.6 第1回サウンディング型市場調査
- R5.8 市の施設案、ゾーニング案の公表(8/31)
- R6.3 第1回ワークショップ(市民・団体、学生)
- R6.3 第2回サウンディング型市場調査
 - R6.5 市のゾーニング案の変更(5/31) ← 意見反映
 - R6.6~7 第2・3回ワークショップ(市民・団体、学生)
 - R6.8~10 官民連携勉強会・ワークショップ
- R7 先導的官民連携支援事業によるPPP事業導入の推進

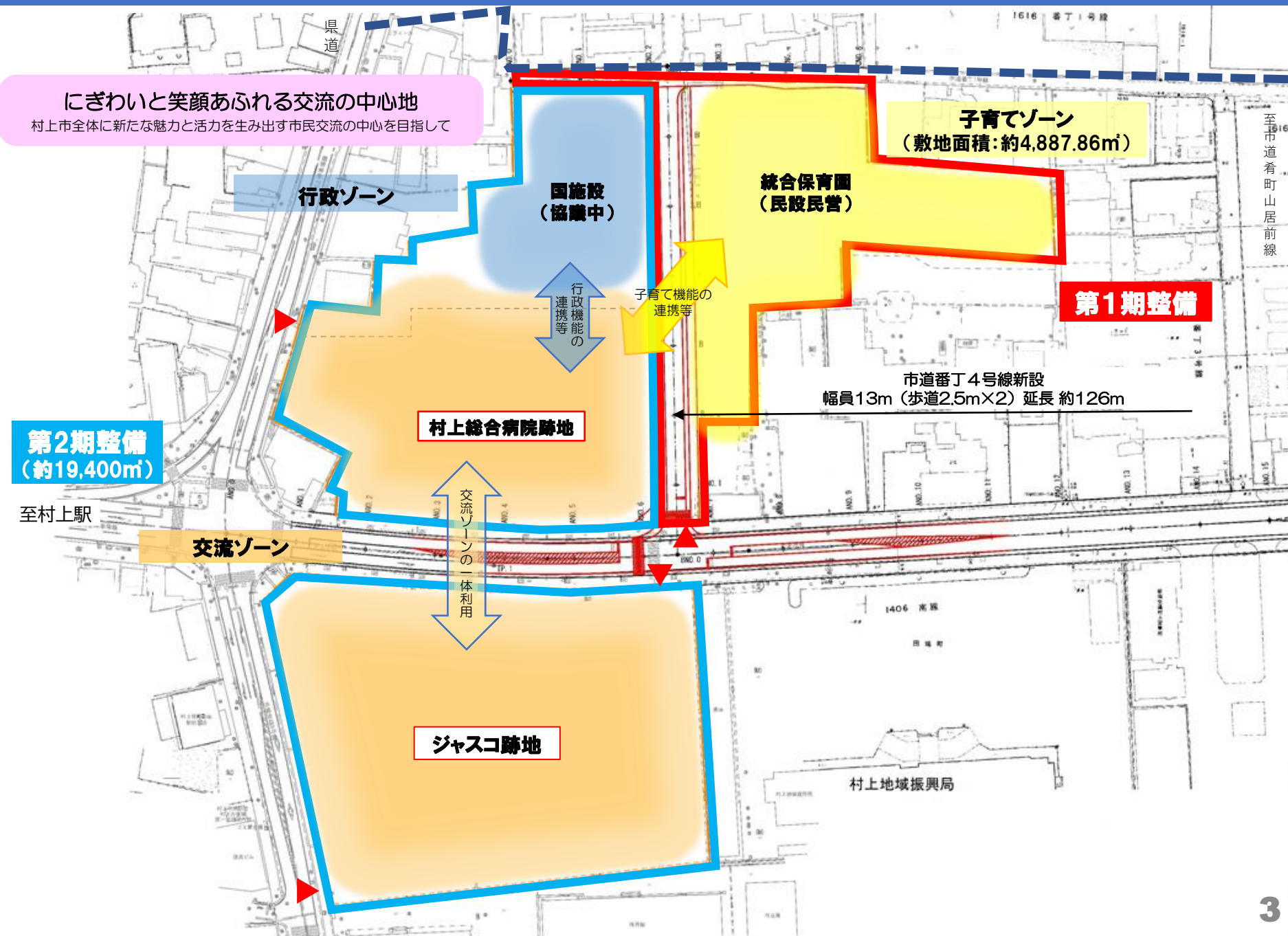
第1期整備 (子育てゾーン)

- R7.9~ 第1期整備着工(開発内道路建設、統合保育園敷地造成)
- R8.3~ 統合保育園建設工事
- R9 統合保育園開園(4/1)

第2期整備 (交流ゾーン)

- R8 事業化、PPP導入に係る意思決定
- R9 事業者選定
- R10~11 第2期整備着手
- R12 供用開始予定

2 村上駅周辺まちづくり事業 大規模跡地のゾーニングイメージ



第3次村上市総合計画

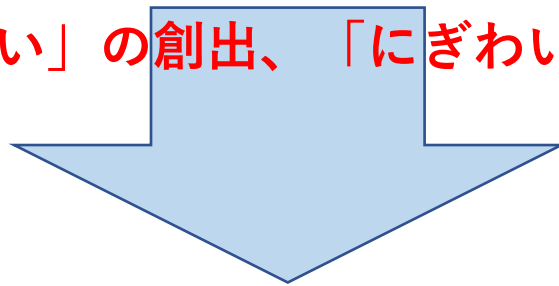
○まちの将来像：『あふれる笑顔のまち村上』

村上市都市計画マスタープラン

○休憩・飲食・買い物・交流など地域住民も楽しめる商業地の形成

○都市機能増進施設や多目的にぎわい広場の整備など「にぎわい」の場の形成

ポイント：「にぎわい」の創出、「にぎわい」ある空間の形成



《活用方法》

○イベント開催を想定した広場・オープンスペース

○市民も来訪者も集えるうるおいのある公園

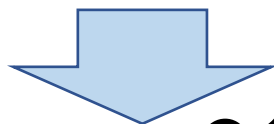
○都市防災機能の充実

交流の中心地へ

村上駅周辺まちづくりプラン(基本構想)

○基本方針 都市拠点・にぎわい空間の形成 **【キーワード：交流】**

《取組》



○都市機能増進施設整備

○にぎわい創出イベントの実施

○商業活性化のイベント実施

○多目的なにぎわい広場整備

○情報発信施設整備

ワークショップでの意見

《学生の意見》

○季節ごとのイベント

《市民・団体からの意見》

○会議室・多目的室

○スポーツジムやダンスルーム

○情報発信

○縁日やフリーマーケット

○カフェ、飲食スペース、販売

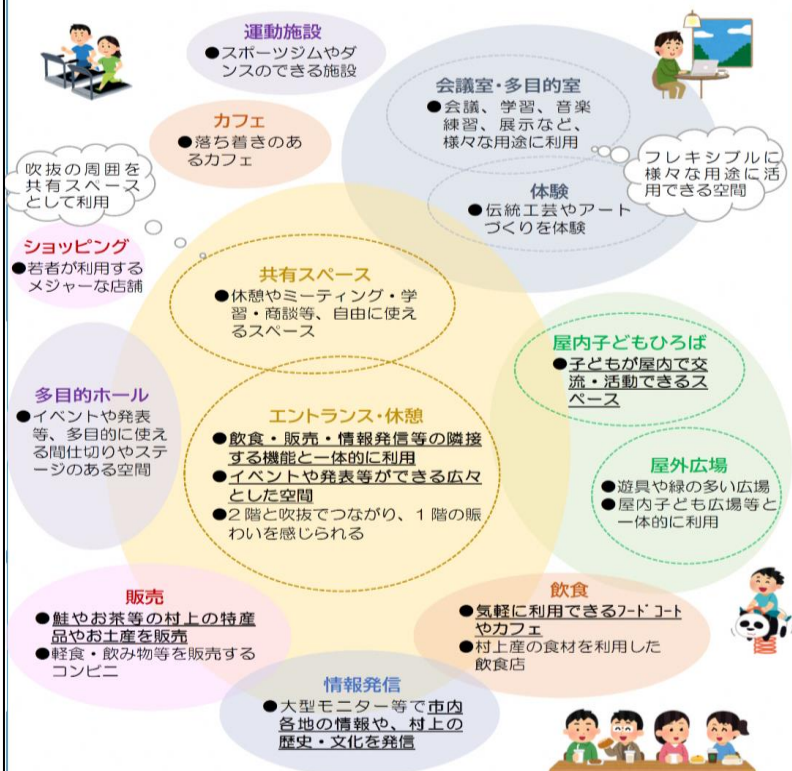
○屋内、屋外広場

4 官民連携による村上駅周辺まちづくり事業の推進

PPP(官民連携)の導入の効果

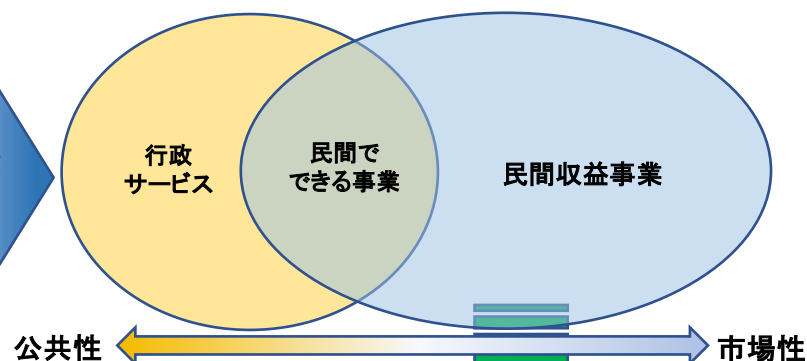
- 行政でなくてもできることは民間事業者が行うことで、公共サービスと収益事業が融合し、より柔軟な発想で新たなサービス展開が期待されます。
- 地域や社会の課題解決に、民間事業者のノウハウを活かす機会が増えることで、民間事業者の成長と地域の利益がつながり、好循環が生まれます。
- 地域で仕事を生み、雇用を創出することで、お金・仕事・人の流れをつくります。
- PPP(官民連携)の導入にあたっては、LABV手法を主軸に検討を進めます。

令和6年度実施のワークショップの意見

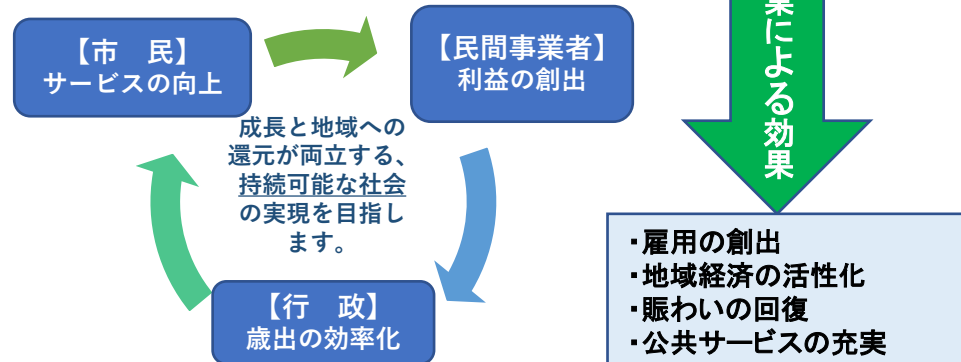


太字：すべての班から挙げられた意見

これまでの市民の声を土台として、どんな空間づくりが必要なのか検討します。

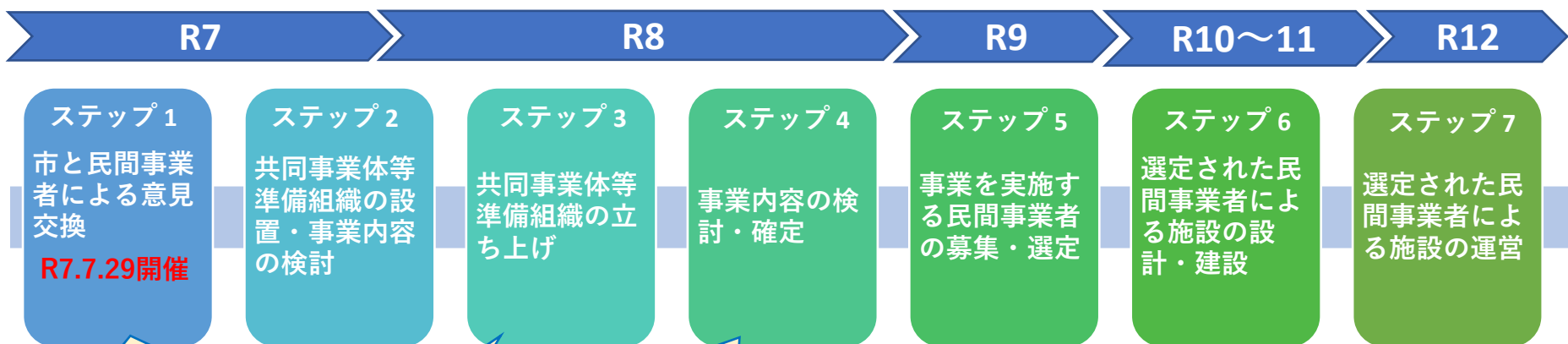


地域内の好循環



4 官民連携による村上駅周辺まちづくり事業の推進

事業化に向けたプロセス



適宜、市民説明会（8月開催予定）を開催し、事業の進捗をお伝えするとともに、事業化に向けたプロセスや計画の内容に、皆様のご意見をできる限り反映しながら進めてまいります。

事業の内容について、あらためて市民の皆様のご意見を伺い、その声をもとに、民間事業者にどのようなサービスや取組を求めるかを検討していきます。

例えば、施設の設計や建設を進める段階でも、選ばれた民間事業者が市民の意見を聞きながら、具体的な設計を進められるような仕組みを検討します。



現時点では、以下のような取組を想定しています。
各ステップに応じて市民の声をいただきます。

①市民説明会の実施

②事業者に期待すること（条件）の募集

③事業者との対話機会の設置



市民への情報共有

市民意見の反映

市民意見の反映

市民の声はどこで…？



共同事業体等準備組織の概要

- 行政や事業者、金融機関、地域団体によって構成し、村上駅周辺まちづくり事業で取り組みたいことについて話し合い・行動するための「対話の機会」・「連携の場」です。
- 事業のコンセプトや範囲、導入施設・機能の検討や、LABVを主軸とした事業手法など民間のアイデアを生かした事業の具現化を検討します。
- 金融機関や民間事業者同士のマッチングの場となり、各事業者が結びつくことで相乗効果を生み出し、更なる事業効果の高まりが期待されます。

～ 村上駅周辺まちづくり事業 ～

駅周辺の未来予想図を自分事として
考え、そこからみんなで創る

今の・これ
からの
資源



人と人
とを
結ぶ

パブリックマインドの醸成
未来の人に誇れる新しい価値創り